

中学校 外国語科(英語) 学習指導案

指導者 久松 功周

- 日時** 平成 29 年 7 月 7 日(金) 第1限 8:40~9:30
- 場所** 2BHR 教室
- 学年・組** 中学校 2 年 B 組 42 人 (男子 21 人 女子 21 人)
- 単元** Lesson 4 “Ms. King’s Trip with Her Friend”
ONE WORLD English Course 2 (KYOIKU SHUPPAN)
- 目標**
1. 積極的に書いている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
 2. 読んだことに基づいて, 英語で日記を書く。(外国語表現の能力)
 3. 動名詞, There is 構文, 第二文型をとる動詞を用いた文の意味・構造を理解する。(言語や文化についての知識・理解)

指導計画 (全 7 時間)

- 第一次 本文で用いられる言語材料の意味・用法を確認する 1 時間
- 第二次 本文内容の理解 4 時間 (本時 3/4)
- 第三次 英作文 2 時間

授業について

4 月当初から, 授業規律, 辞書指導, 及び発音指導, 音読・暗唱指導で構成される帯活動を学習の基礎として重点的に指導を行い, 4 月当初の半分程度の時間で帯活動を終えることが可能になった。今後の指導の方向性としては, 新学習指導要領の言語活動 オの話すこと (発表) における (イ), (ウ) を目標としている。これらの項目においては, ①事実, 出来事と自分の意見, 考えを区別する学力, ②文章を読んで理解した内容を踏まえてメモを作り, それを踏まえて口頭で発表する学力が必要であると解釈している。メモを踏まえた上で文章についての概要を口頭発表する活動としては, ストーリーリテリングが効果的な活動として挙げられるが, 一方で指導展開や生徒の発達段階によっては, 教科書の暗唱と差別化があいまいで, 表現活動という本来の目的から逸れ, ドリル活動になってしまうという可能性も指摘されている。そこで, ストーリーリテリングをより自己表現活動に近づけていく上で, 「出来事をまとめた日記を書く」という手法を試行錯誤している。出来事を踏まえて感想を書くということ, 会話をモノログに変えていくという過程で一定の「自己表現」を担保することができ, また出来事と感想, 事実と意見というメタ的な指導にも役に立つのではないかと考えている。また生徒に書かせた日記をクラス全体で共有することを通して, 生徒間での刺激を生み, 学習に対する動機付けも期待している。

本時の目標

1. 読んだことに基づいて, 英語で日記を書く。(外国語表現の能力)

本時の評価規準 (観点/方法)

1. 読んだことに基づいて, 英語で日記を書ける。(外国語表現の能力)

本時の学習指導過程

学習内容	学習活動	指導上の留意点
<p>帯活動</p> <p>内容理解</p> <p>英作文</p>	<ul style="list-style-type: none">・発音指導・音読指導・つづりの練習・暗唱練習・暗写練習 <p>・Q&A をペアで練習する</p> <p>・本文についての教師の問いに英語で答える。</p> <p>・本文内容についての Teacher's talk</p> <p>・本文内容に基づいて、英語で日記を書く。</p>	<p>・Finally の意味を辞書で調べさせ、内容との関連を理解させる。</p>
備考		

2017年度 中2 Lesson 4 Ms. King's Trip with Her Friend **Part 4**

○空欄を埋めながら音読2回 ⇒ 空欄を埋めましょう ⇒ つづりの練習 ⇒ 口頭英訳練習 (計7分)

Ms. King: ①We're () here. This is Dogo Onsen.

Emily: I love () ()! Look at that building!

②It () really ().

Ms. King: That's a famous () (). ③The () says it's over 120 years old.

Emily: Let's take a bath there!

Ms. King: That () ().

Ms. King: ④How did you like the bath?

Emily: Great! ⑤I () ()!

Ms. King: I enjoyed it, too. () () () is good for us.

Emily: ⑥We have () hours before going to the (), so let's () () the city.

Ms. King: Yes, let's!

つづりの練習 間違った単語のつづりを3回ずつ書きましょう。待っている間は右ページの日本語を英語にできるように練習しましょう。

() () ()	() () ()
() () ()	() () ()
() () ()	() () ()

指示があつたら折る

○英訳(3分) ⇒ 答え合わせ ⇒ Q&A

キング先生: ①やっと着いたわね。ここが道後温泉よ。

エミリー: 温泉, 大好き! あの建物を見て! ②本当に古そうね。

キング先生: あれは有名な温泉場なのよ。③ガイドブックには, 築120年以上とあるわ。

エミリー: あそこで温泉に入りましょう!

キング先生: いいわね。

(2人は温泉から上がりました。)

キング先生: ④温泉はどうだった?

エミリー: すばらしかったわ! ⑤すっきりしたわ!

キング先生: わたしも楽しかったわ。温泉に入るのはいいことね。

エミリー: ⑥空港に行くまで数時間あるから, 市内を散策しましょう。

キング先生: ええ, そうしましょう!

Q&A 以下の質問に教科書を見ずに口頭で答えられるように練習しなさい。

1. Where did they arrive in Matsuyama?
2. How old was the bathhouse when they were in Matsuyama?
3. How did Emily feel after taking the bath?
4. How were they going to leave Matsuyama?

Diary あなたはキング先生です。今日あった出来事を日記として英語でまとめようとしています。本文を見て、起こった出来事を以下の空欄にまとめて、最後にそれに対する感想と日記のタイトルを日本語で付け加えなさい。

※教科書に書かれていることから過度に逸脱しないように、自分で内容を加えてもかまいません。

①Date	July 7, 2017 (Fri)
Title	
②Event (60 ~ 80 words)	<hr/>
③Thoughts (10 ~ 20 words)	<hr/> <hr/> <hr/>

指示があったら折る

自分が書いた日記の大切な情報を以下の空欄に書き込みましょう。(計 15 語まで)

Date	July 7, 2017 (Fri)
Title	
Event	() () () () () () () () () ()
Thoughts	() () () () ()

2年 組 番 名前

実践上の留意点

1. 授業説明

本授業のねらいは「出来事をまとめた日記を書く」である。指導の方向性としては、新学習指導要領の言語活動 オの話すこと（発表）における（イ）、（ウ）を目標としている。これらの項目においては、①事実、出来事と自分の意見、考えを区別する学力、②文章を読んで理解した内容を踏まえてメモを作り、それを踏まえて口頭で発表する学力が必要であると解釈している。メモを踏まえた上で文章についての概要を口頭発表する活動としては、ストーリーリテリングが効果的な活動として挙げられるが、一方で指導展開や生徒の発達段階によっては、教科書の暗唱と差別化があいまいで、表現活動という本来の目的から逸れ、ドリル活動になってしまうという可能性も指摘されている。そこで、ストーリーリテリングをより自己表現活動に近づけていく上で、日記という手法を考案した。教科書の登場人物になりきって日記を書くことで、本文内容に基づきながらも、本文の行間を自分の考えで埋めながら作文を書くことで、より自己表現に近い形の表現活動が可能になると考えたからである。

2. 研究協議より

- **Teacher's talk** の部分を、生徒の既習事項以外の表現を用いても、もっと英語を用いて行うべきではないか。それが日記を書く生徒のモデルにもなる。
- 帯活動で行っていた発音指導を、より要点を絞って行ってもよいのではないか。単なる音声の真似にとどめずに、教科書本文の内容理解をした上で、なぜモデル音声のような読み方になっているか考えさせても効果的である。